

高等学校改革プランに関する南信州地域の要望書

長野県教育委員会が推進する今般の高等学校改革プランについて、各通学区に設置された高等学校改革プラン推進委員会に地域の意見が反映できるであろう部会の設置に期待をしてきました。

しかし、設置が困難な状況となったところから、当広域連合では高校再編問題は将来に亘る地域の重要課題と位置づけ、地域の合意形成に向けて平成17年10月13日に教育関係者や産業界の代表者等で構成する「高等学校の未来検討委員会」を諮問機関的に設置し、高等学校改革プラン推進委員会の審議進捗に呼応した議論を重ねてまいりました。

県立高校再編整備候補案は、飯田市内で比較的近距離にある飯田長姫高校と下伊那農業高校を統合して総合学科高校の候補とし、併せて統合した新高校に定時制課程を設置して飯田工業高校の定時制を統合する。また、飯田長姫高校の工業科を飯田工業高校へ統合するものであります。

この整備候補案に対して、地域で取り組める期間は極めて短期間ではありましたが、当該検討委員会の委員各位も少子化の進行に伴い将来を見据える中で、改革は必要との共通認識で議論を重ね、平成17年12月20日に「飯田長姫高校と飯田工業高校を統合し、併せて両校の定時制も統合する」等の答申をいただいたところです。

高校再編問題は、地域の将来を担う人材育成にも繋がる重いテーマですが、当該検討委員会において身を削りながらも当地域のために真摯に議論をいただいたこの答申を、当広域連合と連合議会では重く受け止め、両校のPTAや同窓会等の関係者の了解も得る中で、南信州地域の総意として代案を決定したところです。また、この代案は県立高校再編整備候補案とは異なりますが、未来の生徒達にも喜んでもらえるものと確信をしております。

つきましては、南信州地域の代案等は下記のとおりですので、この実現に向けて長野県教育委員会が確実な取り組みをされるよう、長野県議会の御支援・御尽力を賜りますよう要望いたします。

記

1 南信州地域としての代案

飯田長姫高校と飯田工業高校を統合し、併せて両校の定時制も統合する。

- ・ 統合に際しては、両校の6学科と学級数を存続させる。
- ・ ものづくりの専門高校として南信地区の拠点校となるよう施設・設備の充実を図る。
- ・ 統合により、現行の学習環境や設備等の規模を縮小しない。

2 高校の統合に当たっては、県立高校の設置者として、長野県教育委員会の現地機関に担当職員を配置するなど、地区ごとの推進体制を確立するとともに、地域と一体となって推進すること。

3 魅力ある高校づくりについての議論は高校改革の原点論議ですが、時間的余裕のない中で全県に亘り殆ど出来得ない状況にあるところから、県立高校の経営責任者として、地域の教育関係者や保護者等が一堂に会して議論を進めることができる仕組みの構築と実行を進められたい。

平成18年2月10日

長野県議会
議長 萩原 清 様

南信州広域連合
広域連合長 牧野光朗

南信州広域連合議会
議長 熊谷富夫

高等学校改革プランに関する南信州地域の要望書

貴職が推進する今般の高等学校改革プランについて、各通学区に設置された高等学校改革プラン推進委員会に地域の意見が反映できるであろう部会の設置に期待をしてきました。

しかし、設置が困難な状況となったところから、当広域連合では高校再編問題は将来に亘る地域の重要課題と位置づけ、地域の合意形成に向けて平成17年10月13日に教育関係者や産業界の代表者等で構成する「高等学校の未来検討委員会」を諮問機関的に設置し、高等学校改革プラン推進委員会の審議進捗に呼応した議論を重ねてまいりました。

県立高校再編整備候補案は、飯田市内で比較的近距離にある飯田長姫高校と下伊那農業高校を統合して総合学科高校の候補とし、併せて統合した新高校に定時制課程を設置して飯田工業高校の定時制を統合する。また、飯田長姫高校の工業科を飯田工業高校へ統合するものであります。

この整備候補案に対して、地域で取り組める期間は極めて短期間ではありましたが、当該検討委員会の委員各位も少子化の進行に伴い将来を見据える中で、改革は必要との共通認識で議論を重ね、平成17年12月20日に「飯田長姫高校と飯田工業高校を統合し、併せて両校の定時制も統合する」等の答申をいただいたところです。

高校再編問題は、地域の将来を担う人材育成にも繋がる重いテーマですが、当該検討委員会において身を削りながらも当地域のために真摯に議論をいただいたこの答申を、当広域連合と連合議会では重く受け止め、両校のPTAや同窓会等の関係者の了解も得る中で、南信州地域の総意として代案を決定したところです。また、この代案は県立高校再編整備候補案とは異なりますが、未来の生徒達にも喜んでもらえるものと確信をしております。

つきましては、南信州地域の代案等は下記のとおりですので、地域課題を地域で真摯に論議した、正にコモンズの理念と合致する取り組みを尊重いただき、この代案等の実現に向けて確実な取り組みがされるよう強く要望します。

記

1 南信州地域としての代案

飯田長姫高校と飯田工業高校を統合し、併せて両校の定時制も統合する。

- ・ 統合に際しては、両校の6学科と学級数を存続させる。
- ・ ものづくりの専門高校として南信地区の拠点校となるよう施設・設備の充実を図る。
- ・ 統合により、現行の学習環境や設備等の規模を縮小しない。

2 高校の統合に当たっては、県立高校の設置者として、貴職の現地機関に担当職員を配置するなど、地区ごとの推進体制を確立するとともに、地域と一体となって推進すること。

3 魅力ある高校づくりについての議論は高校改革の原点論議ですが、時間的余裕のない中で全県に亘り殆ど出来得ない状況にあるところから、県立高校の経営責任者として、地域の教育関係者や保護者等が一堂に会して議論を進めることができる仕組みの構築と実行を進められたい。

平成18年2月10日

長野県教育委員会

委員長 松田泰俊 様

南信州広域連合

広域連合長 牧野光朗

南信州広域連合議会

議長 熊谷富夫